

横手市指定文化財

<p>指定名称</p>	<p>沼館八幡神社 神輿渡御行事 ぬまだてはちまんじんじゃ みこしとぎよぎようじ</p>		<p>ぬまだてはちまんじんじゃ がつ さいらい さい おこな 沼館八幡神社の9月の祭礼の際に行われ、 ししまい せんとう みこし ほか はた やり も 獅子舞を先頭に神輿の他に幡や弓、槍を持つ ひやくにんでいと ぎようれつ つづ た百人程度の行列が続く。沼館地区の氏子 す じゆうらく じゆんこう いてこう しゆよう つじ が住む集落を巡行する。一行は、主要な辻で ししまい ひろう ちらい く 獅子舞を披露しながら、矢来が組まれた とうばんせい おみこしやど おやど めざ おやど 当番制の「御神輿宿」(御宿)を目指す。御宿 きゆうけい のち ふたた ちいき まわ じんじゃ めざ で休憩した後に再び地域を回り神社を目指す。</p>
<p>指定名称</p>	<p>浅舞八幡神社 神輿渡御及び山車巡行行事 あさまいはちまんじんじゃ みこしとぎよおよびだしじゆんこうぎようじ</p>		<p>あさまいはちまんじんじゃ しゆうきれいさい おこな みこし 浅舞八幡神社の秋季例祭の際に行われ、神輿 あさまいちく ちやうない がざ やま おど と浅舞地区12町内による「飾り山」や「踊り やま よ だし こべつ あさまい 山」と呼ばれる山車が、それぞれ個別に浅舞 ちくとそのしゆうへん しゆうらく じゆんこう みこし 地区とその周辺集落を巡行する。神輿 は、 幡や鉾を持つ威儀物捧持者や氏子総代ら かくちやうない さいてんじむしよ ぼら と各町内の祭典事務所でお祓いをしながら めぐ だし れきしじゆう にんき ぼめん ひやうげん 巡る。山車は、歴史上の人気の場面を表現した ものがおおい。</p>
<p>指定名称</p>	<p>沼館鏡図 ぬまだてかがみず</p>		<p>ぶんか ねん せがりた すずきけ せんぞ 文化2年(1805)に千刈田で、鈴木家の先祖が かいこんちゆう しゆつど えた えいなん ねん 開墾中に出土したと伝えられる永延3年 (989)の年紀のある八陵鏡の表裏を描いた ず かがみ きゆうだいほんしゆきたけよしまさ ひ あ めいれい 図。鏡は、九代藩主佐竹義和の引き上げ命令 によって、鈴木家が十文字まで持参し、その だいじやう かがみ もしや かけじく あた 代償として鏡を模写したこの掛軸が与えら れたとされる。すずきけ やしきない かがみ 社」または「大日堂」と呼ばれる祠を立て祀 っていた。</p>